

品川区における小中一貫教育



品川区教育委員会

小中一貫校の児童・生徒の募集方法

品川区は、小・中学校の新 1 年生・新 7 年生が行きたい学校を選ぶ学校選択制を実施しています。

【小中一貫校の新 1 年生と新 7 年生】（下線の部分が新たに追加されました）

小中一貫校（小学校）の就学指定の順位

一貫校となる小学校（第二日野小・原小）の通学区域内居住者

一貫校となる中学校（日野中・伊藤中）の通学区域内居住者

小学校ブロック内居住者

品川区内全域

小中一貫校（中学校）の就学指定の順位

一貫校となる小学校（第二日野小・原小）の在籍者

一貫校となる中学校（日野中・伊藤中）の通学区域内居住者

一貫校となる中学校の通学区域内の小学校在籍者で、一貫校となる中学校の
通学区域外居住者

品川区内全域

* 各学年で受入枠を超えた場合は、抽選となります。

* 受付期間 希望申請期間内（9 月下旬～10 月末日まで）に提出していただきます。

【編 入】

新 2～6 年生 新 1 年生と同様の順で受け入れます。

新 8・9 年生 一貫校となる中学校（日野中・伊藤中）の通学区域内居住者

品川区内全域

* 各学年で受入枠を越えた場合は、抽選となります。

* 受付期間 希望申請期間終了後（1 月中旬頃を予定）受付を開始します。

【募集方法に関する問合せ】

品川区教育委員会事務局 学務課 学事係 電話 03(5742)6828

平成 17 年 9 月 発行

品川区教育委員会

【問合せ先】 指 導 課 小中一貫教育担当

〒140-8715 品川区広町 2 - 1 - 36

TEL 03(5742)6595 FAX 03(5742)6892

E-mail shochu@city.shinagawa.tokyo.jp



小中一貫教育を全ての区立小・中学校で実施します



小中一貫教育では、確かな学力を定着させるために、今まで以上に一人ひとりの学習状況に合わせてきめ細かい指導を行っていきます。また、自分の将来の夢をはぐくみ、社会に役立てることができる知識や知恵を身に付けられるようにしたいと考えています。

そのために、義務教育 9 年間の教育課程を、一貫性をもたせながらも、心理的・身体的な発達など、最近の子どもの現状に応じて、大きく 1～4 年生と 5～9 年生の二つのまとまりで編成しました。前半の 4 年間は、基礎・基本の定着に重点を置いた指導を行い、後半の 5 年間は 3 年と 2 年に分け、5～7 年生では学力の定着に重点をおいた指導を行います。最後の 8・9 年生では、教科、内容の選択幅を増やし、生徒の個性・能力を十分に伸ばす指導を行います。

こうした観点から、教育委員会と学校と一緒に検討を進めてきた『小中一貫教育要領』に基づき平成 18 年度から全ての小・中学校で教育活動を始めます。また、文部科学省の学習指導要領をベースにしているので、転入・転出についても心配はいりません。

小中一貫校については、子どもたちが小学校 1 年生から 9 年間で継続して学ぶことができる学校です。ただし、7 年生の段階で、他の小学校からの入学も受け入れます。教育内容はもちろん、学校運営や施設も小中一体の学校となります。

平成 18 年 4 月には、大崎地区に『小中一貫校 日野学園』（第二日野小・日野中）が開校し、平成 19 年 4 月には、大井地区に小中一貫校（原小・伊藤中）が開校します。



『品川区小中一貫教育要領』が作成・発刊されました

平成 18 年度から始まる小中一貫教育の実施に向け、教育課程の基準として『小中一貫教育要領』を作成しました。各学校のカリキュラム編成と教育活動は、この小中一貫教育要領に拠ることになります。

【構成・内容】

第 1 章 「教育課程編成基準」

小中一貫教育の基本的な考え方を示してあります。

第 2 章 「学習指導指針」

国の学習指導要領をベースに 9 年間を見通した『4・3・2 年』のまとまりで各教科のねらいや内容を見直してあります。

【出版社】 株式会社 講談社 定価：1,365 円（本体価格：1,300 円）



小中一貫教育の意義

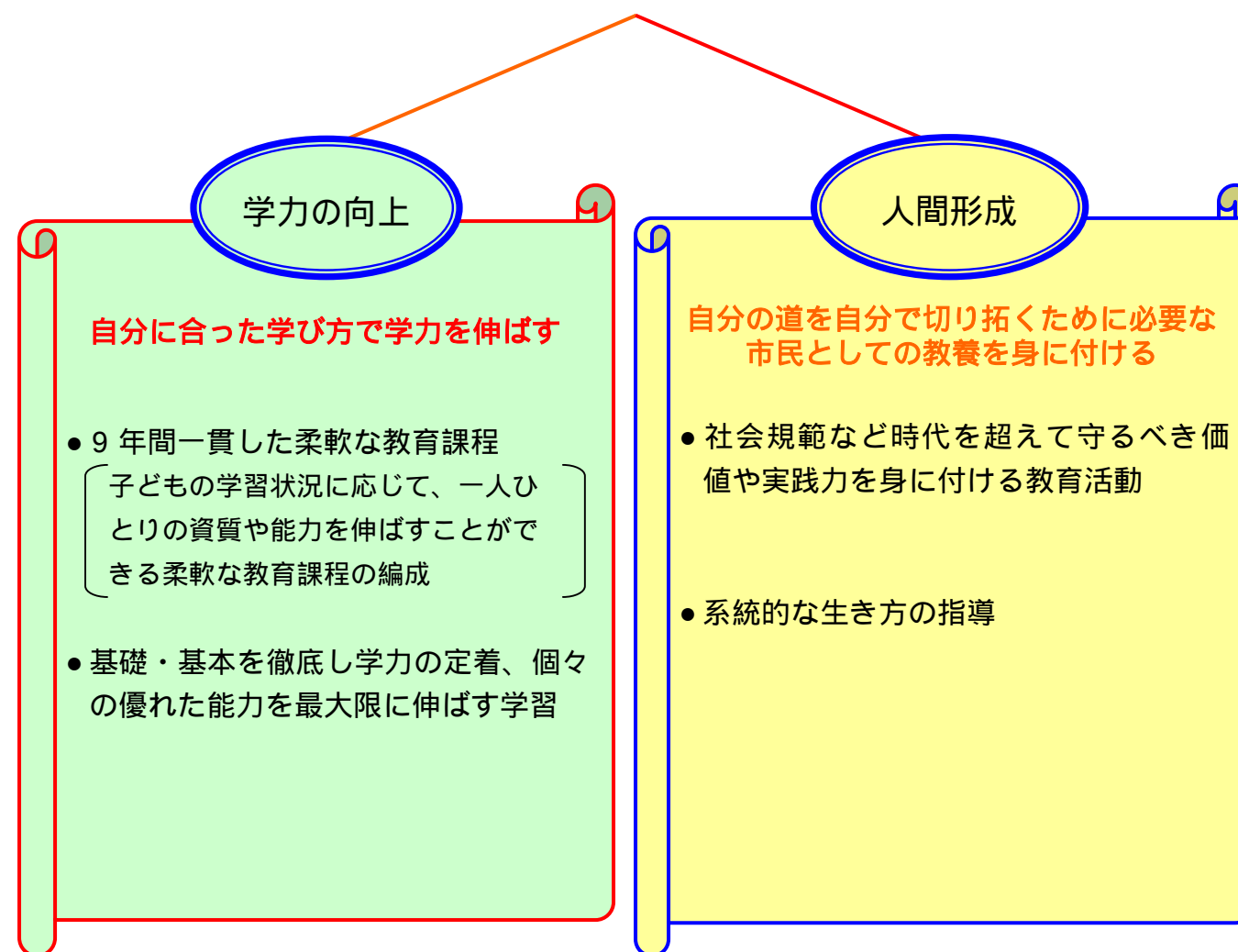
小学校と中学校の先生方が同じ視点で、継続的に一貫性のある指導を行うことで、子どもたちの学習や学校生活に対するとまどいがなくなり、確かな学力が身に付くとともに学習意欲が高まります。

社会の一員として生きていくために必要な知識や教養を身に付け、自分の将来の希望や夢をしっかりとてる子どもたちが育ちます。

子どもたち一人ひとりのモチベーションや特長を十分に伸ばすことができ、生き生きとした学校生活が送れます。

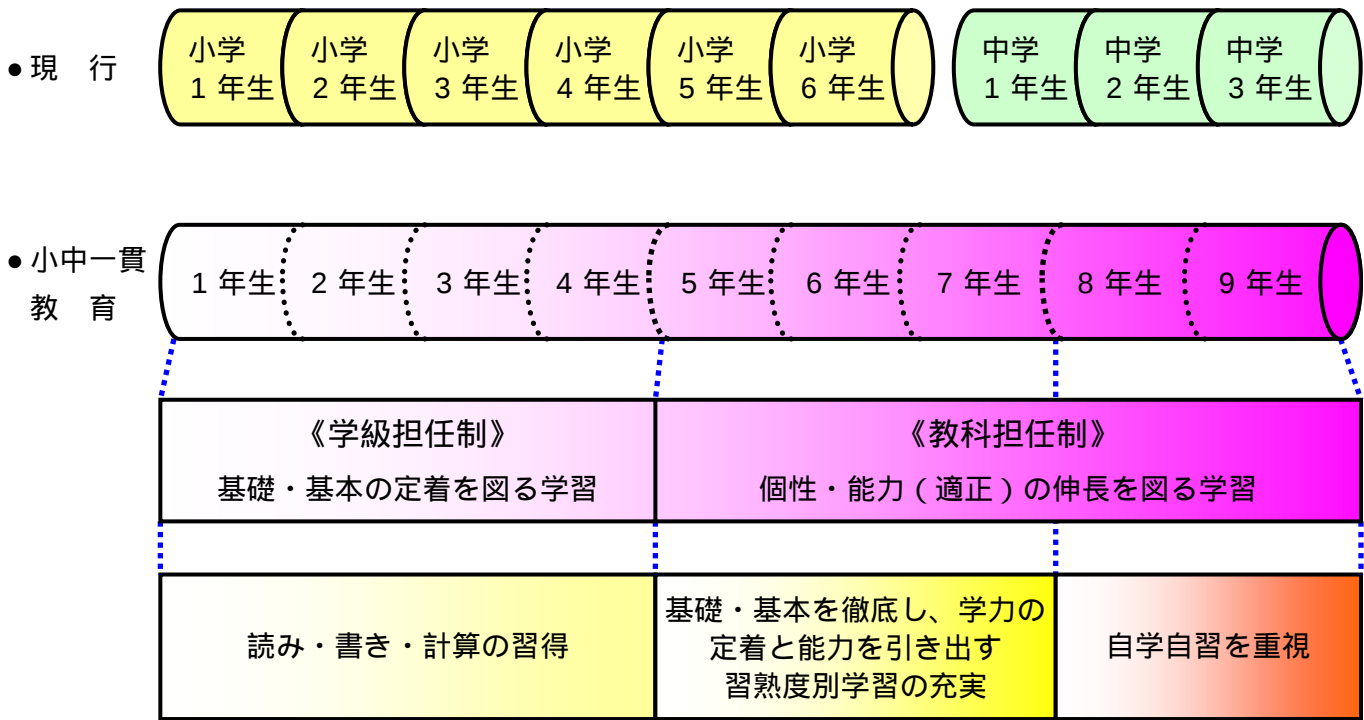


柔軟で系統性のある教育活動を実現する『小中一貫教育』



小中一貫教育の考え方

子どもの実態や身体面・思考面の発達などを考慮し、現行の 6・3 制の中で、『4 - 3 - 2 年』のまとまりで教育課程を柔軟に編成



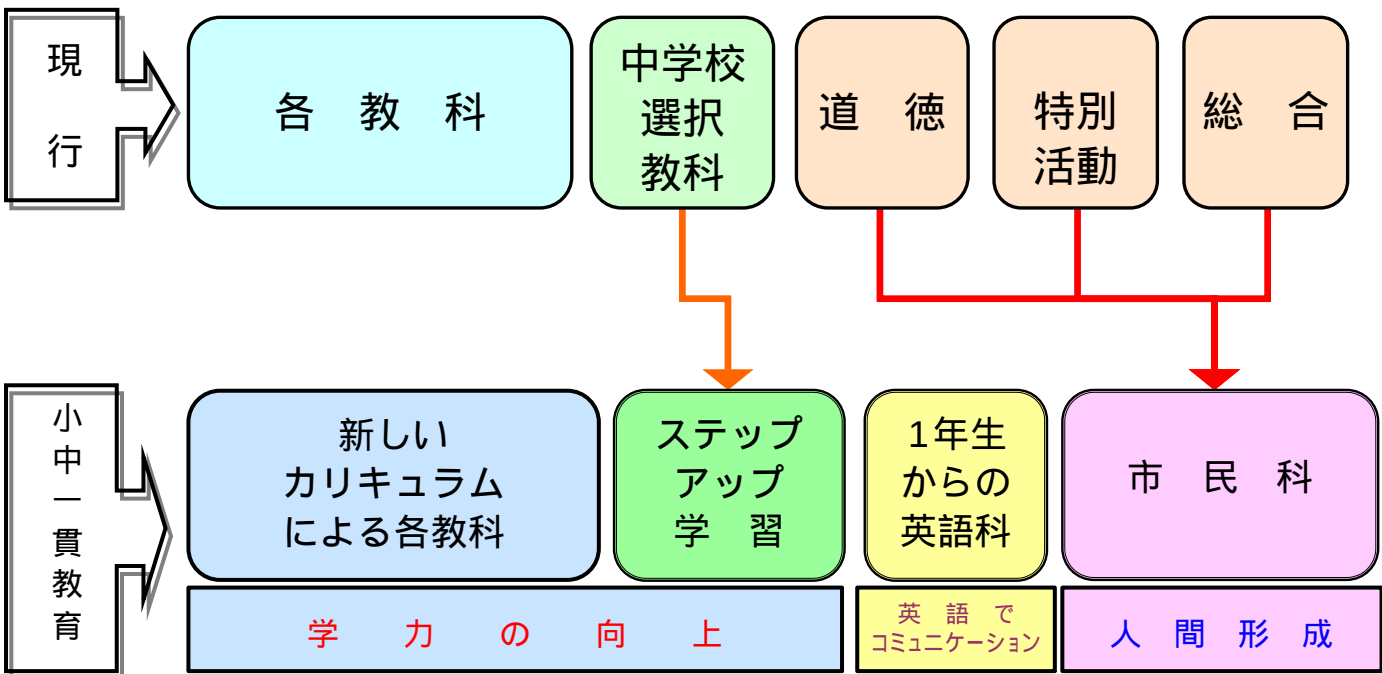
【各 教 科】
1～9 年生

- 9 年間継続性・系統性をもたせた柔軟な教育課程を編成し、学力の定着・伸長を図る。
 - ・教科の内容の充実、重点化、学ぶ順序の変更、新しい内容の追加など大胆な再編成
- 例えば「国語科」では
- ・読書の時間を充実させる。
 - ・漢字の学習に重点をおき、3・4 年生で読み書きの基本を習得できるよう授業時間数を増やす。
 - ・ほかの教科とも関連させながら、論理的思考力を育てることを重視した指導を行う。
- 標準授業時数を現行より週 2 時間程度増やす

【ステップアップ学習】
5～9 年生

- 基礎・基本を徹底して身に付けるとともに、個々の子どもたちがもつ特定分野の優れた能力を引き出す。また、自ら学ぼうとする力を伸ばす。
- ・教科を選択
- ・年齢を超えた学習集団の編成
- ・習熟度別学習や課題選択学習の選択
- ・上級学年の学習内容も視野に入れた発展的学習

小中一貫教育の教育課程



【英 語 科】
1～9 年生

- 国際社会の中の日本人としての自覚をもち、主体的に生きていく上で必要な資質や能力を養うことが求められているが、小学校からの英語科を通して、「広い視野でイニシアティブ（自分で決定し、自分で行動する力）」をもった実践的なコミュニケーション能力を育成していく。なお、小・中学校の 9 年間で「4 - 3 - 2 年」のまとまりで、子どもたちの実態に応じた系統的で一貫性のある「英語科」を実現するため、以下のようなコンセプトをもとにカリキュラムを編成している。
 - ・1～4 年生
英語によるコミュニケーションに「親しむ」
 - ・5～7 年生
英語によるコミュニケーション能力を「身に付ける」
 - ・8・9 年生
英語によるコミュニケーション能力を「活用する」
- 標準授業時数は、1・2 年生 20 時間、3～6 年生 35 時間、7～9 年生 105 時間とする。

【市民科】の新設
1～9 年生

- 将来にわたり教養豊かで品格のある人間形成を目指し、子どもたち一人ひとりが自らの在り方や生き方を自覚し、生きる筋道を見つけながら、自らの人生観を構築する基礎となる資質と能力を育成する学習として、「市民科」を新設した。
- この市民科の内容は、「自己管理」「人間関係形成」「自治的活動」「文化創造」「将来設計」の 5 つの領域で編成されており、9 年間をとおり、子どもたちに自己のゆるぎない信念と理想をもたせるとともに、社会の一員として義務と責任を果たし、常に自己改革を図りながら自らの生き方に意味付けを行うことができるような学習を目指す。
- 標準授業時数は、1～4 年生 70 時間、5～9 年生 105 時間とする。



小中一貫校 日野学園（第二日野小・日野中）

開設場所：品川区東五反田 2 - 11 - 1

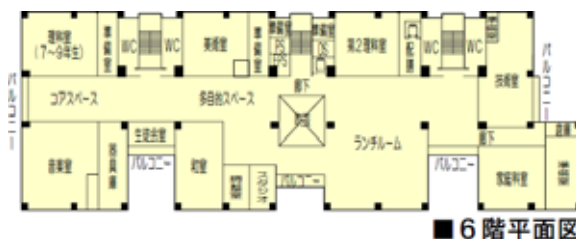
開 校：平成 18 年 4 月（予定）

学校規模：（予定）

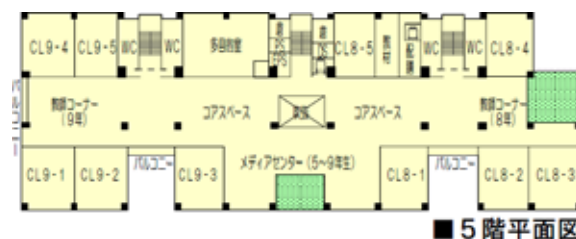
1～6 年は各学年通常学級 3 学級、
心身障害学級 1 学級
7～9 年は各学年通常学級 5 学級と
心身障害学級 1 学級



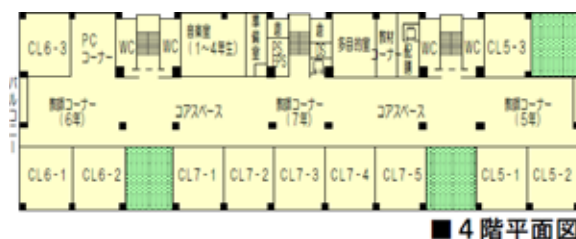
■ 1 階平面・配置図



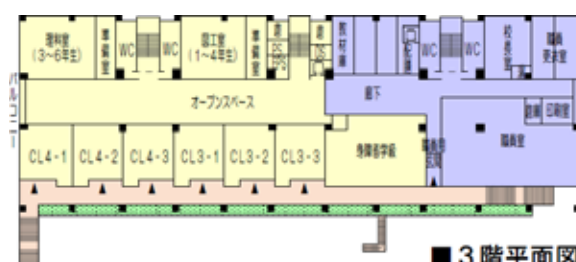
■ 6 階平面図



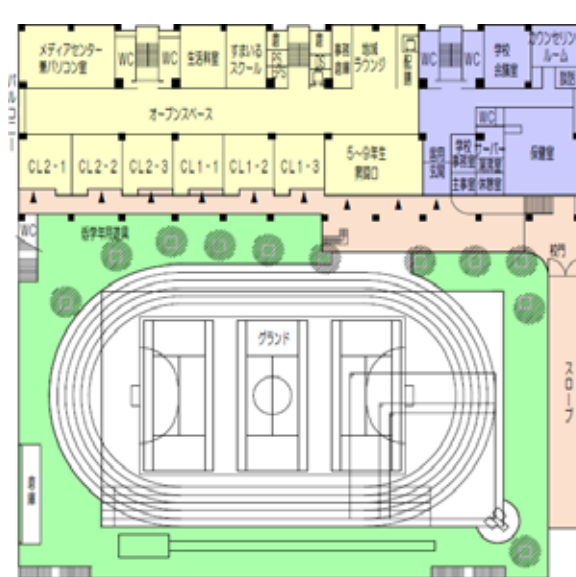
■ 5 階平面図



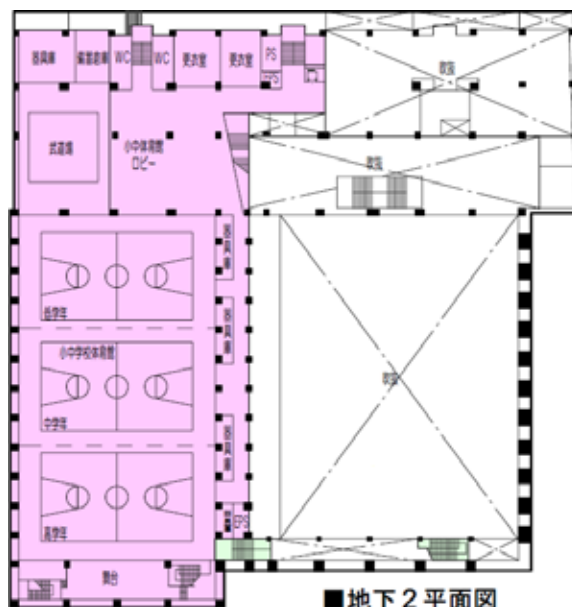
■ 4 階平面図



■ 3 階平面図



■ 2 階平面図



■ 地下 2 平面図



（1～4 年生） （5～7 年生）（8・9 年生）



（仮称）大井地区小中一貫校（原小・伊藤中）

開設場所：品川区大井 5 - 1

開 校：平成 19 年 4 月（予定）

学校規模：（予定）

1～6 年は各学年通常学級 3 学級と
心身障害学級 1 学級
7～9 年は各学年通常学級 4 学級と
心身障害学級 1 学級

施設概要：地下 2 階、地上 5 階

面積 約 18,000 m²



5 階平面図



4 階平面図



3 階平面図



2 階平面図



B 2 階平面図



1 階平面図兼配置図